

東京ミッドタウンで飛騨の逸品を集めた 『飛騨展～Hida fair～』開催中

岐阜県飛騨市



飛騨展

Hida Fair

2/8(月)～3/5(金)

日本の真ん中岐阜県の最北部にある飛騨市。北アルプスの山々を望み日本でも有数の豪雪地帯です。そんな飛騨の山と水、歴史と伝統に育まれた技から生まれた特産品をご紹介します。

飛騨市では、東京ミッドタウン（東京都六本木）内「THE COVER NIPPON」にて、2月8日(月)から3月5日(金)までの約1ヶ月の期間、『飛騨展～Hida fair～』を開催します。

この『飛騨展』では、平成30年度から、経営力やマーケティング力の向上を促し、モノを通じて飛騨市の魅力を国内外に発信できる事業者を輩出する事業として飛騨市が実施している「モノづくり事業者育成プロジェクト」において生まれた商品を販売します。

ラインナップは、飛騨が誇るブランド牛・飛騨牛を使った高価格帯のおつまみとして開発した「飛騨牛ジャーキー」や飛騨の豊富な薬草を活かした「メナモミラテ」や「メナモミうどん」「メナモミ味噌煎餅」等の薬草関連商品、商品規格に合わず出荷できないりんごを利用して作ったサステナブルな「りんご飴」など9事業者15種類。

3年目を迎えた「モノづくり事業者育成プロジェクト」の新たな動きとして、事業者間のコラボレーションから生まれた新商品も誕生しています。

飛騨市の有名な観光スポット「瀬戸川と白壁土蔵街」近くの『福全寺蕎麦』では、新型コロナウイルスの感染拡大により、観光客が減り、外食自粛が呼びかけられる中、自宅でも美味しいお蕎麦を楽しんでもらおうと乾麺の販売を開始しました。

パッケージには、当該プロジェクトをきっかけに繋がりが生まれた、原材料から紙漉きまで全て手作業で制作する『長尾農園』の「山中和紙」が使用されています。なお、『福全寺蕎麦』の乾麺は、『飛騨展～Hida fair～』で販売される他、オンラインでも購入が可能です。



山中和紙を使った蕎麦のパッケージ

◆『飛騨展～Hida fair～』詳細 URL

<https://thecovernippon.jp/20210129-hida/>（THE COVER NIPPON ホームページ内）

◆「モノづくり事業者育成プロジェクト」の紹介 URL

<https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/14/hidamono.html>（飛騨市ホームページ内）

— 本件に関する、一般の方から、及び報道関係からのお問合せ先 —

岐阜県飛騨市役所商工課 担当者：中村 TEL 0577-73-7463（直通）